

学 年
4年復習

わり算①

年 組 名前

① 94まいの色紙を、31枚ずつ分けるとき、何人に分けられて何枚あまるか考えます。

①式をかきましょう。

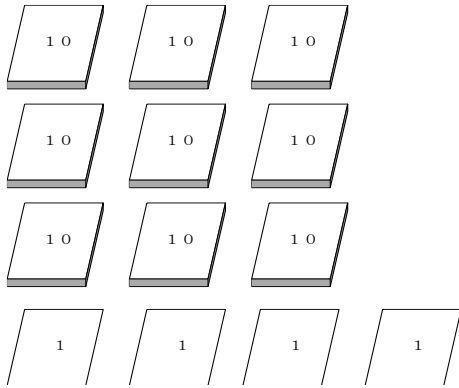
②商の見当をつけます。ゆうすけさんは「かけ算の見積もりと同じようにできないかな？」と考えました。ゆうすけさんの説明の続きを考えましょう。

94 × 31 の計算をするとき、およそ 90 × 30 と考えて見積もりをしたよ。
だから、この計算も、

() ÷ ()

と考えると、商はおよそ () と見当がつくよ。

③図で考えてみましょう。



③②で見当をつけた商で、計算してみましょう。

3	1	9	4

④答えをかきましょう。 ()

⑤答えのたしかめをしましょう。

() × () + () =

学 年
4年復習

わり算①

年 組 名 前

① 94まいの色紙を、31枚ずつ分けるとき、何人に分けられて何枚あまるか考えます。

①式をかきましょう。

$$94 \div 31$$

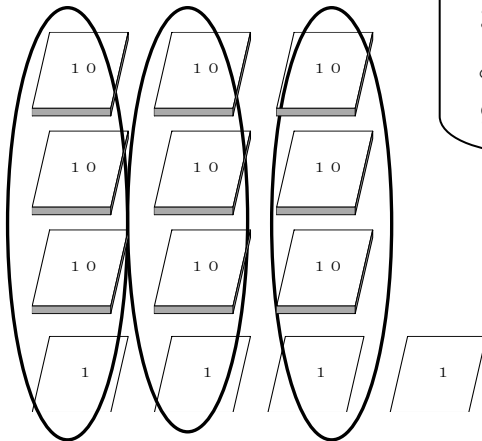
②商の見当をつけます。ゆうすけさんは「かけ算の見積もりと同じようにできないかな？」と考えました。ゆうすけさんの説明の続きを考えましょう。

94 × 31の計算をするとき、およそ90 × 30と考えて見積もりをしたよ。だから、この計算も、

$$(90) \div (30)$$

と考えると、商はおおよそ (3) と見当がつくよ。

③図で考えてみましょう。



90は10のたばが9こ
30は10のたばが3こ
と考えると、
 $9 \div 3 = 3$ と考えられるね。

③②で見当をつけた商で、計算してみましょう。

			3
3	1	9	4
		9	3
			1

① 見当をつけた3をたてる。

② 3と31をかける。

③ 94から93をひく。

④答えをかきましょう。 (3人に分けられて、1枚あまる)

⑤答えのたしかめをしましょう。

$$(31) \times (3) + (1) = 94$$

学 年	わり算②
4年復習	

 年 組 名前

1 $83 \div 41$ を計算します。

①商の見当をつけましょう。

() \div () と考えて、商は ()

②①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

4	1	8	3

③答えのたしかめをしましょう。

() \times () + () =

2 $90 \div 21$ を計算します。

①商の見当をつけましょう。

() \div () と考えて、商は ()

②①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

2	1	9	0

③答えのたしかめをしましょう。

() \times () + () =

学 年

4年復習

わり算②

年 組 名 前

1 $83 \div 41$ を計算します。

① 商の見当をつけましょう。

(80) \div (40) と考えて、商は (2)

② ①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

			2
4	1)	83
			82
			1

① 見当をつけた2をたてる。

② 41に2をかける。

③ 83から82をひく。

※ あまりがわる数(41)より小さいことを確認する。

③ 答えのたしかめをしましょう。

(41) \times (2) + (1) = 832 $90 \div 21$ を計算します。

① 商の見当をつけましょう。

(90) \div (20) と考えて、商は (4)

② ①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

			4
2	1)	90
			84
			6

① たてる。

② かける。

③ ひく。

10のたばで考えると、 $9 \div 2 = 4$ あまり1だね。商の見当をつけているだけだから、あまりは考えなくていいね。

③ 答えのたしかめをしましょう。

(21) \times (4) + (6) = 90

学 年
4年復習

わり算③

年 組 名 前

1 323枚の色紙を、24人で同じ数ずつ分けます。1人分は何枚になって、何枚あまりますか。

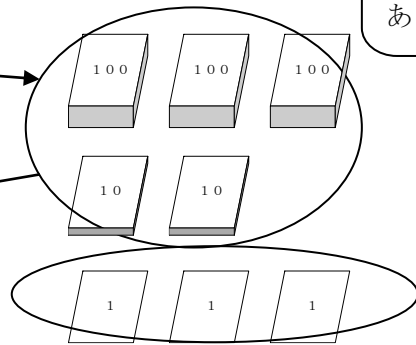
①式をかきましょう。

百	十	一
3	2	3

10は
いくつ
ありますか。

② 計算のしかたを考えます。

- ・10のたばにして考えると、
()たばを、24人で分けるので、
1人()たば分けられます。



2	4	3	2	3

1枚ずつのばらは、まだ考えなくていいね。

- ・次に、残りの色紙を分けて、あまりも考えましょう。

			1	
2	4	3	2	3
		2	4	
		8	3	

83枚を24人で分けるので…

残りは83まいだね。

③答えを考えましょう。

学 年
4年復習

わり算③

年 組 名前

1 323枚の色紙を、24人で同じ数ずつ分けます。1人分は何枚になって、何枚あまりますか。

①式をかきましょう。

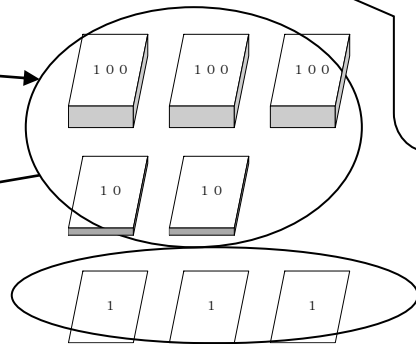
$$323 \div 24$$

百	十	一
3	2	3

10は
いくつ
ありますか。
32ですね。

② 計算のしかたを考えます。

- ・10のたばにして考えると、
(32) たばを、24人で分けるので、
1人 (1) たば分けられます。



			1		
2	4)	3	2	3
			2	4	
			8	3	

1枚ずつのばらは、まだ考えなくていいね。

・次に、残りの色紙を分けて、あまりも考えましょう。

			1	3	
2	4)	3	2	3
			2	4	
			8	3	
			7	2	
			1	1	

83枚を24人で分けるので...

残りは83まいだね。

③答えを考えましょう。

1人分は13枚で、11枚あまる。

【小学校算数・ワークブック】

学 年 4年復習	<h2 style="margin: 0;">わり算④</h2>
-------------	----------------------------------

_____ 年 組 名前 _____

1 200 ÷ 25 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

②わられる数とわる数に2をかけて、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{c}
 200 \div 25 = 8 \\
 \downarrow \boxed{\times 2} \quad \downarrow \boxed{\times 2} \\
 \boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}
 \end{array}$$

③わられる数とわる数に4をかけて、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{c}
 200 \div 25 = 8 \\
 \downarrow \boxed{\times 4} \quad \downarrow \boxed{\times 4} \\
 \boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}
 \end{array}$$

④上のことから、わかることをまとめました。() に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数に、同じ数を () も

商は () 。

2 240 ÷ 60 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

6	0)	2	4

240 cmのリボンを、
60 cmずつとっていくと…
60, 120, 180, 240
たしかに、4本ちょうどとれるね。
じゃあ、24 cmのリボンから、
6 cmずつとると同じだね？

②わられる数とわる数を10でわって、商を考えてみましょう。

$$240 \div 60 = 4$$

↓ ↓

$\boxed{\div 10}$
 $\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

$\boxed{\div 10}$
 $\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

10が24こ集まったものの中に、
10が6こ集まったものは、
いくつぶんあるのかな？
つまり、どちらも10の集まりだから、
わられる数も、わる数も、10で
わってから計算してもいっしょだね。

④わられる数とわる数を30でわって、商を考えてみましょう。

$$240 \div 60 = 4$$

↓ ↓

$\boxed{\div 30}$
 $\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

$\boxed{\div 30}$
 $\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

⑥上のことから、わかることをまとめました。()に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数を、同じ数で()も

商は()。

3 わり算のきまりをつかって、工夫して計算しましょう。

① $300 \div 25 =$

↓ ↓

$\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

$\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

② $270 \div 30 =$

↓ ↓

$\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

$\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$

学 年
4年復習

わり算④

年 組 名前

1 200 ÷ 25 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

				8
2	5)	2	0
			2	0
				0

②わられる数とわる数に2をかけて、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{r}
 200 \div 25 = 8 \\
 \downarrow \times 2 \quad \downarrow \times 2 \\
 400 \div 50 = 8
 \end{array}$$

③わられる数とわる数に4をかけて、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{r}
 200 \div 25 = 8 \\
 \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\
 800 \div 100 = 8
 \end{array}$$

④上のことから、わかることをまとめました。() に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数に、同じ数を (かけて) も

商は (変わらない) 。

同じ意味の言葉ならいいよ。

2 240 ÷ 60 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

				4	
6	0)	2	4	0
			2	4	0
					0

240 cmのリボンを、60 cmずつとっていくと…
60, 120, 180, 240
たしかに、4本ちょうどとれるね。
じゃあ、24 cmのリボンを、6 cmずつとっていくと？
6, 12, 18, 24…やっぱり4本とれるね。

②わられる数とわる数を10でわって、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{c}
 240 \div 60 = 4 \\
 \downarrow \boxed{\div 10} \quad \downarrow \boxed{\div 10} \\
 \boxed{24} \div \boxed{6} = \boxed{4}
 \end{array}$$

24個の集まりの中に、6個の集まりはいくつかな？
24 ÷ 6 の式で計算できるね。
つまり、わられる数、わる数も10でわってもいっしょということだね。

④わられる数とわる数を20でわって、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{c}
 240 \div 60 = 4 \\
 \downarrow \boxed{\div 30} \quad \downarrow \boxed{\div 30} \\
 \boxed{8} \div \boxed{2} = \boxed{4}
 \end{array}$$

⑥上のことから、わかることをまとめました。() に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数を、同じ数で (わって) も
商は (変わらない) 。

3 わり算のきまりをつかって、工夫して計算しましょう。

$$\begin{array}{c}
 ① 300 \div 25 = 12 \\
 \downarrow \boxed{\times 4} \quad \downarrow \boxed{\times 4} \\
 \boxed{1200} \div \boxed{100} = \boxed{12}
 \end{array}$$

25 × 4 = 100 だね

$$\begin{array}{c}
 ② 270 \div 30 = 9 \\
 \downarrow \boxed{\div 30} \quad \downarrow \boxed{\div 30} \\
 \boxed{9} \div \boxed{1} = \boxed{9}
 \end{array}$$

できるだけ小さい数でわると計算しやすいね

学 年	わり算⑤
4年復習	

_____ 年 組 名前 _____

- 1 ゆうすけさんとあずみさんは、 $60 \div 15$ を、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えています。

ゆうすけさんの考え

$60 \div 15$ の、りょうほうの数を3でわると、

() \div () になります。

$20 \div 5 = 4$ なので、 $60 \div 15$ の答えも() になります。

あずみさんの考え

$60 \div 15$ のりょうほうの数に2をかけると、

() \div () になります。

$120 \div 30 = 4$ なので、 $60 \div 15$ の答えも() になります。

- 2 あなたも次の計算を、ゆうすけさんやあずみさんのように、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えてみましょう。

$$250 \div 50$$

$250 \div 50$ のりょうほうの数 _____

() \div () = _____ なので、 $250 \div 50$ の答えも() になります。

学 年
4年復習

わり算⑤

年 組 名前

- 1 ゆうすけさんとあずみさんは、 $60 \div 15$ を、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えています。

ゆうすけさんの考え

$60 \div 15$ のりょうほう数を3でわると、

(20) \div (5) になります。

$20 \div 5 = 4$ なので、 $60 \div 15$ の答えも(4)になります。

あずみさんの考え

$60 \div 15$ のりょうほうの数に2をかけると、

(120) \div (30) になります。

$120 \div 30 = 4$ なので、 $60 \div 15$ の答えも(4)になります。

- 2 あなたも次の計算を、ゆうすけさんやあずみさんのように、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えてみましょう。

$$250 \div 50$$

$250 \div 50$ のりょうほうの数を (に)

10でわると
 $25 \div 5$

2をかけると
 $500 \div 100$

5でわると
 $50 \div 10$

50でわると
 $5 \div 1$

() \div () = () なので、 $250 \div 50$ の答えも(5)になります。